

第3回 農業・農村・地域活性化セミナー

持続可能な地域づくりとは

人を巻き込む力・続ける力

2015年3月22日(日)

14:00 ~ 16:30 (13:30開場)

慶應義塾大学日吉キャンパス協生館3階CDF教室

地域活性が持続可能であるべきことは言うまでもありません。また、その手段や戦略として、外部の人を満足させるだけでなく、内部の人たちの満足も伴わなければ、持続的な地域活性にはつながりません。では、活性化の種をどう成長させ、どう展開すれば内外の人を巻き込み続けられるのか——。3回目となる今回のセミナーでは、1970年代の町おこしに始まり、現在も地域活性のモデルとなっている長野県小布施町の取り組みを紹介し、合わせて、人が集まる理由、魅了し続ける要件などを皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

入場無料

定員 100人 (申込み先着順)

配布資料：林美香子著

『農業・農村で幸せになろうよ』ほか

※閉会后、希望者の方による懇親会を
予定しています(協生館1F：有料)

第1部 基調講演



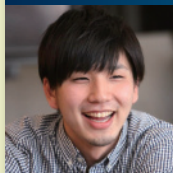
120万観光客を集める小布施の戦略と さらなる向上のスパイラル

小布施町長 市村良三

長野県立長野高等学校、慶應義塾大学法学部政治学科卒業。ソニー(株)勤務を経て27歳で帰郷。1979年、おじで元小布施町長の市村郁夫氏が他界、翌年、市村次夫氏とともに(株)小布施堂の経営を引き継ぐ。町並み修景事業を推進。2004年12月小布施町長初当選。

第2部 発表・対談

地域づくりを突き動かすものとは



発表1 滞在活動レポート 若者の視点から

慶應SDM小布施町ソーシャル
デザインセンター研究員

大宮 透

発表2 女性と地域づくり

慶應義塾大学大学院
SDM研究科特任教授

林 美香子

対談 市村町長／林特任教授



左掲ほか、北海道大学大学院農学研究院客員教授。農都共生研究会会長として「食」「農業」「地域づくり」などの取り組み、講演活動を行う。

会場アクセス



タイムスケジュール

13:30	開場
14:00	第1部講演
15:00	休憩
15:10	第2部発表1
15:25	〃 発表2
15:40	〃 対談
16:10	質疑応答
16:30	閉会

日吉駅＝東急東横線・目黒線／横浜
市営地下鉄グリーンライン、徒歩1分

主催：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属システムデザイン・マネジメント研究所地域活性ラボ／農都共生ラボ／慶應SDM・小布施ソーシャルデザインセンター

協力：農都共生研究会／松田綜合法律事務所／安曇出版

◎お申込みは、下記のサイトまで

<http://www.sdm.keio.ac.jp/2015/03/22-111253.html>